第 40 回 BATIC（国際会計検定）® 講評

＜Subject1 について＞

全体的にはオーソドックスな問題で、前回と同程度のボリューム、難度になりました。内容に関しては、今回も、問題 1～3 は、ビジネス英語の問題となっておりました。落ち着いて解いていただければ解答可能であったかと思います。問題 31～33 は、仕訳及び集計に関する問題でした。標準的な形式の問題ですので、多少時間をかけても丁寧に集計することが求められました。問題 34 は、借入金の支払利息の問題及び再振替仕訳に関する問題でした。再振替仕訳に関する問題は、選択問題及び記述問題で出題が頻出していますが、短時間で解答可能なので、ぜひ、正答したかったところです。問題 35 は棚卸資産と売上原価の会計処理を問う基本的な問題でした。問題 36 は Closing entries（締切仕訳）の問題、問題 37,38 は、例年と同様に損益計算書、貸借対照表を作成する問題でした。全体として、テキストの設例及び過去の本試験問題をベースとした問題がほとんどでしたので、テキストの設例と過去の本試験問題を十分に確認されていた方は、ハイスコアの取得が可能な問題かと思います。

＜BATIC 検定受験後にお勧めの資格＞

BATIC 検定受験後は、会計専門職の最高峰である U.S.CPA 試験へのチャレンジはいかがでしょうか。BATIC で学習した英文会計の知識は、U.S.CPA 試験の学習内容と重なる部分も多いので、学習を進める上で大きなアドバンテージとなります。ビジネスに関する高度で広範囲な知識は、グローバルなフィールドでの活躍をお考えの方にとって、大きな力となることは間違いありません。この機会にぜひ U.S.CPA 試験へのチャレンジをお考えください。

大原　U.S.CPA 講座のご案内
http://www.o-hara.ac.jp/best/uscpa/

大原簿記学校　BATIC（国際会計検定）®講座
Email：cmn_uscpa@mail.o-hara.ac.jp